

『ONE PIECE FILM RED』

『魔女の宅急便』

谷口悟朗 × 近藤勝也、奇跡の最強タッグ

監督

キャラクター原案

叶えたい、この街で

パリに咲くエトワール

L'étoile de Paris en fleur

当真あみ 嵐莉菜

早乙女太一

原作：谷口悟朗・BNF・ARVO 監督：谷口悟朗 脚本：吉田玲子 キャラクター原案：近藤勝也
キャラクターデザイン：山下祐 リサーチャー：白土晴一 美術監督：金子雄司 色彩設計：柴田亜紀子 撮影監督：江間常高 キャラクター演出：千羽由利子
3DCG監督：神谷久泰 編集：廣瀬清志 プロップデザイン：尾崎聖美 メカデザイン：片貝文洋 音響監督：若林和弘 音楽：服部隆之
アニメーション制作：アルボアニメーション 製作：「パリに咲くエトワール」製作委員会 配給：松竹 ©「パリに咲くエトワール」製作委員会

イラスト：近藤勝也

1912年——輝きに満ちたパリで、夢追う少女の物語

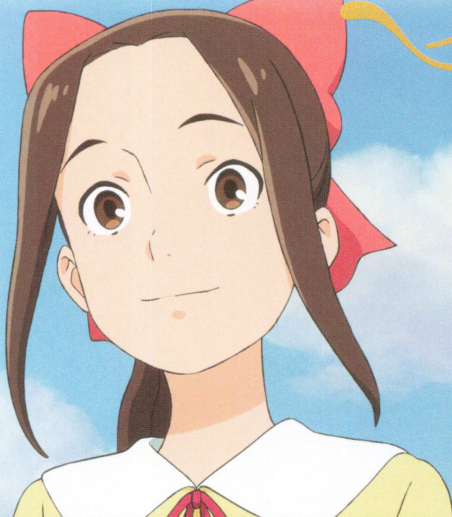
3.13 Fri

やりたいことがあるって
素敵だと思うの

画家を夢見る

フジコ (CV 当真あみ)

Fujiko



20世紀のパリ。
星〈エトワール〉に手を伸ばすふたりの少女——!

INTRODUCTION

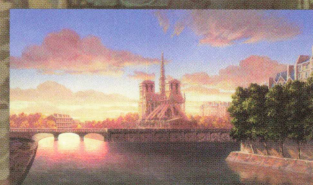
『ONE PIECE FILM RED』の谷口悟朗監督と『崖の上のポニョ』『魔女の宅急便』のキャラクターデザイン・近藤勝也。

ふたりのヒットメーカーが手を携えた本作は、困難な時代にあって、諦めることなく星〈エトワール〉に手を伸ばそうとするふたりの少女の物語です。

画家を夢見るフジコとバレエに心惹かれる千鶴。横浜で偶然出会ったふたりは、運命に導かれるようにパリで再会を果たします。

20世紀初頭のパリで、夢を追い求め奮闘するふたりの姿は、誰の心にもある“明日への希望”を呼び覚ましていきます。

2026年、また忘れることのできない物語が始まります。



STORY

20世紀初頭のパリ。

そこに日本からやってきたふたりの少女が暮らしていました。ひとりは、夫を支えるよき妻となる将来を望まれながらも、画家を夢見るフジコ。

もうひとりは、武家の家系に生まれ、ナギナタの名手ながらバレエに心惹かれる千鶴。

トラブルに巻き込まれたフジコを千鶴が助けたことで、ふたりは5年ぶりの再会を果たします。

千鶴の夢を知るフジコは、同じアパートマンの少年ルスランの母オルガが、ロシア出身の元バレリーナであることを知り、レッスンを依頼します。

一方、フジコの保護者である叔父さんがある日、失踪するという事件が起きます。

フジコと千鶴、ふたりはそれぞれの夢を掴むことはできるのでしょ——。



踊っていると幸せなの

バレリーナを夢見る

千鶴 (CV 嵐 莉菜)

